



新居浜から世界へ —「正解のない問い」に挑んだ南高生の軌跡

令和7年度 総合学科30年目の集大成：第28回 ライフスタディーズII 講評

本日は「地域と共に、未来を創る」をテーマに、素晴らしい探究の数々が発表されました。
南高総合学科30年の歴史にふさわしい、生徒たちの情熱と論理が詰まった「集大成」を振り返ります。

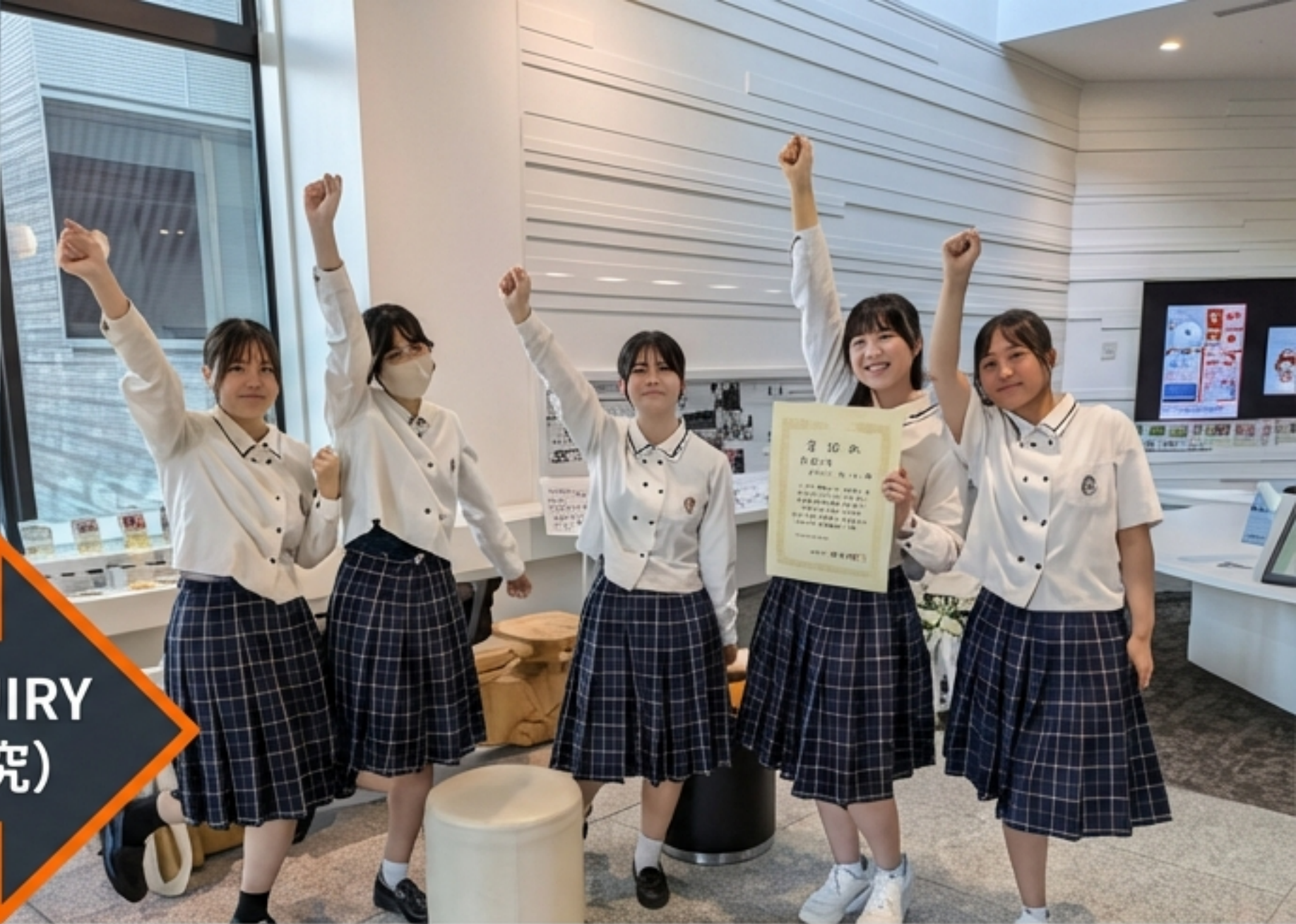
発表者：愛媛大学国際連携推進機構 教授・小村修

VUCA Era

予測不能な時代（VUCA）

AIの台頭、複雑化する社会課題。
既存の知識だけでは通用しない時代。

INQUIRY
(探究)

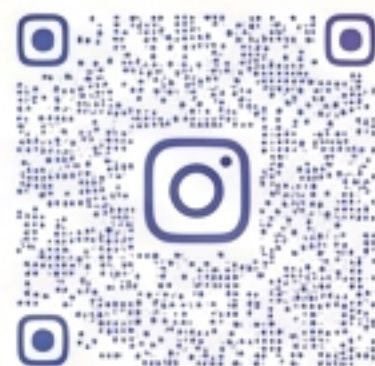


南高生の「切り拓く力」

「自ら問いを立てる」
「他者と協働する」
「試行錯誤する」

これこそが、未来を生き抜くための最強の武器です。

地域とつながる① — 「本物」の現場（ゲンバ）に飛び込む



@GENBA_NANKOU

製造業の魅力を発信：「高校生とゲンバの推し物語」



メディア連携：「若者にラジオを届けよう」
ハートネットワークと番組を共同制作



商品開発：「ブルーベリーは俺らが救う。」
農家の課題を商品化で解決

教室を飛び出し、地域経済の「リアル」を
肌で感じる。単なる体験学習を超えた、
経済活動の一翼を担うアクション。



地域とつながる② — 誰かの笑顔のために



- ♡ **新居浜こども食堂:** 食事提供だけでなく、季節のイベントで「心の居場所」をつくる。
- ♡ **高齢者の食事研究:** 祖父母の健康（糖尿病・サルコペニア）を分析し、愛のある献立を開発。
- ♡ **地域清掃ボランティア:** 自発的な活動で、地域住民民とのコミュニケーションを深化。

「誰かのために動く」という優しさと当事者意識が、新居浜という街を温かくしています。

世界を見つめる — 平和と公正を求めて

16 平和と公正を
すべての人に



歴史的争いの表現（学生研究より）

A 地理は争いを生むのか？



イギリス百年戦争などを分析。領土・宗教・資源と戦争の相関関係を歴史から紐解く。

B WWⅢ（第三次世界大戦）は おこるのか？

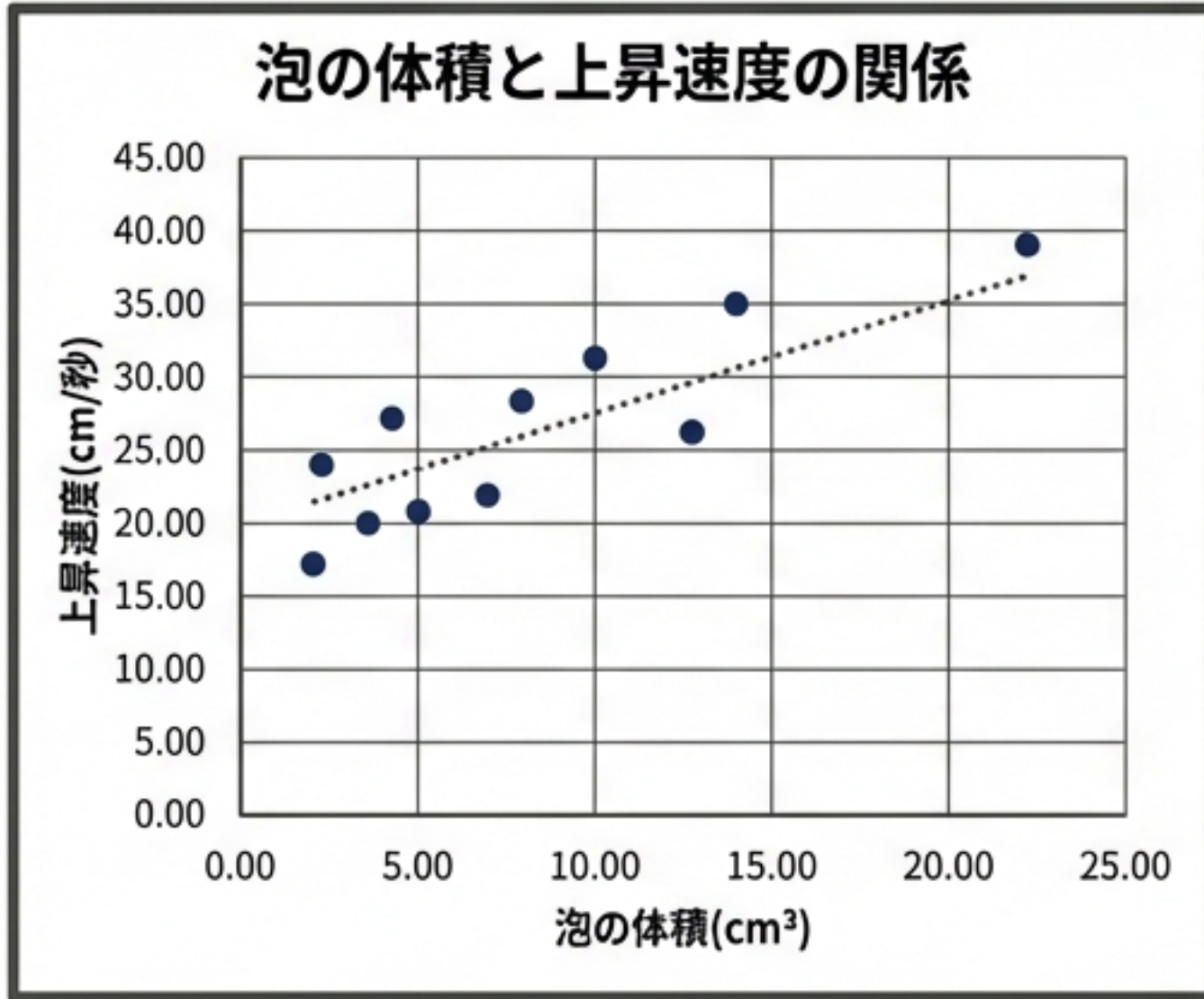


過去の大戦の定義と現代の世界情勢（ウクライナ・中東）を比較分析。

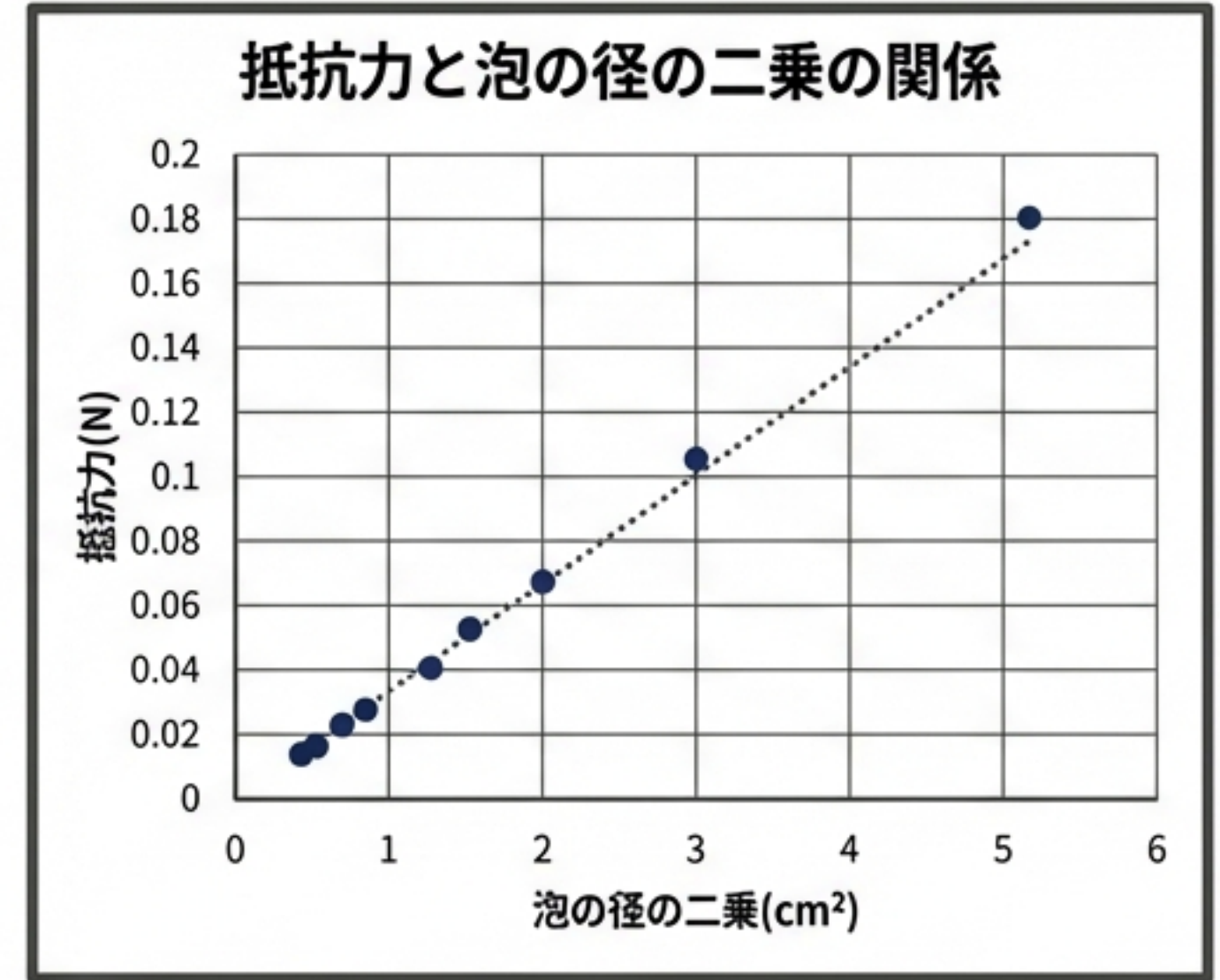
遠くの国の出来事を「自分たちの未来」として捉える視座の高さ。
答えの出ない難問から逃げずに考える姿勢。

学術的な深み(1) — 仮説と検証のサイクル (理科)

プロジェクト: 水中を上昇する泡の研究



実験モデル



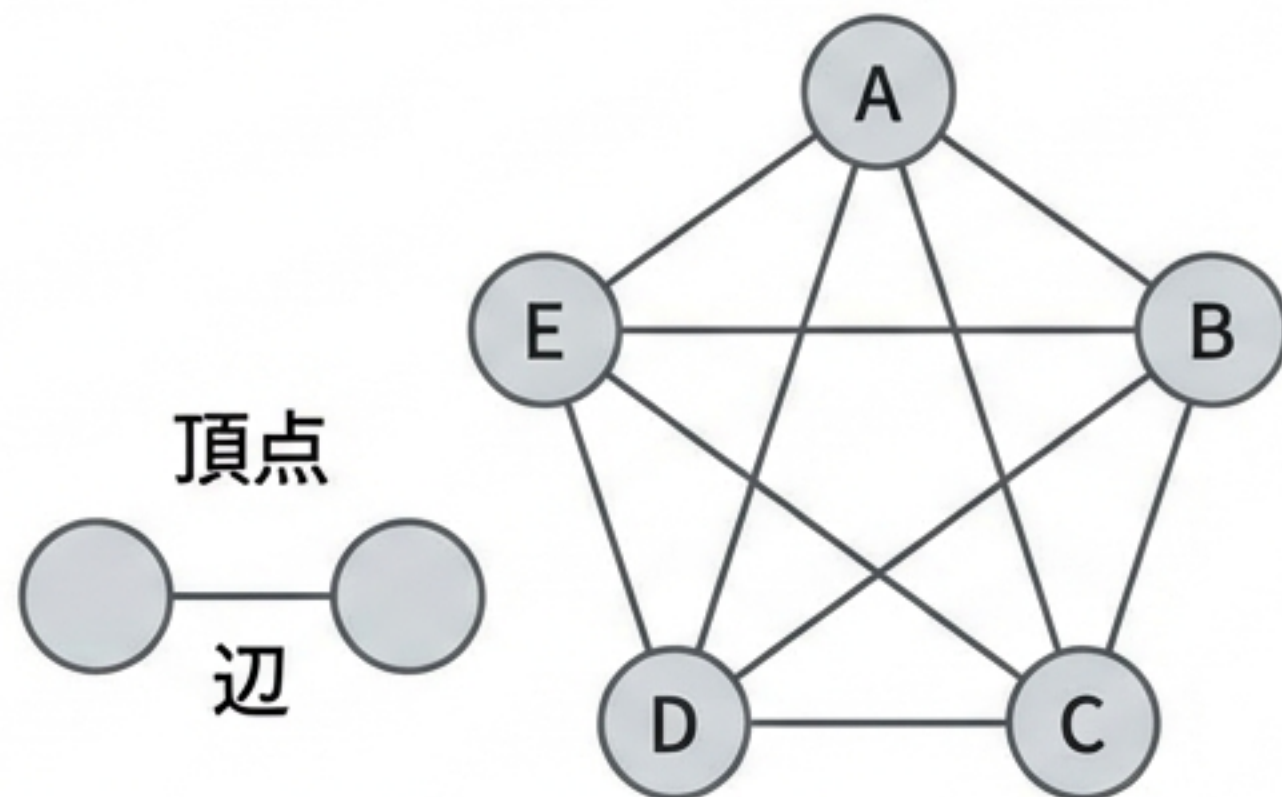
発見1: 泡が大きくなると上昇速度は速くなる

発見2: 抵抗力は泡の径の2乗に比例する

分析と考察: 水族館での素朴な疑問から出発し、緻密な実験とデータ分析で物理法則を解明。事実に基づいて論理的に結論を導き出す、科学的思考の好例。

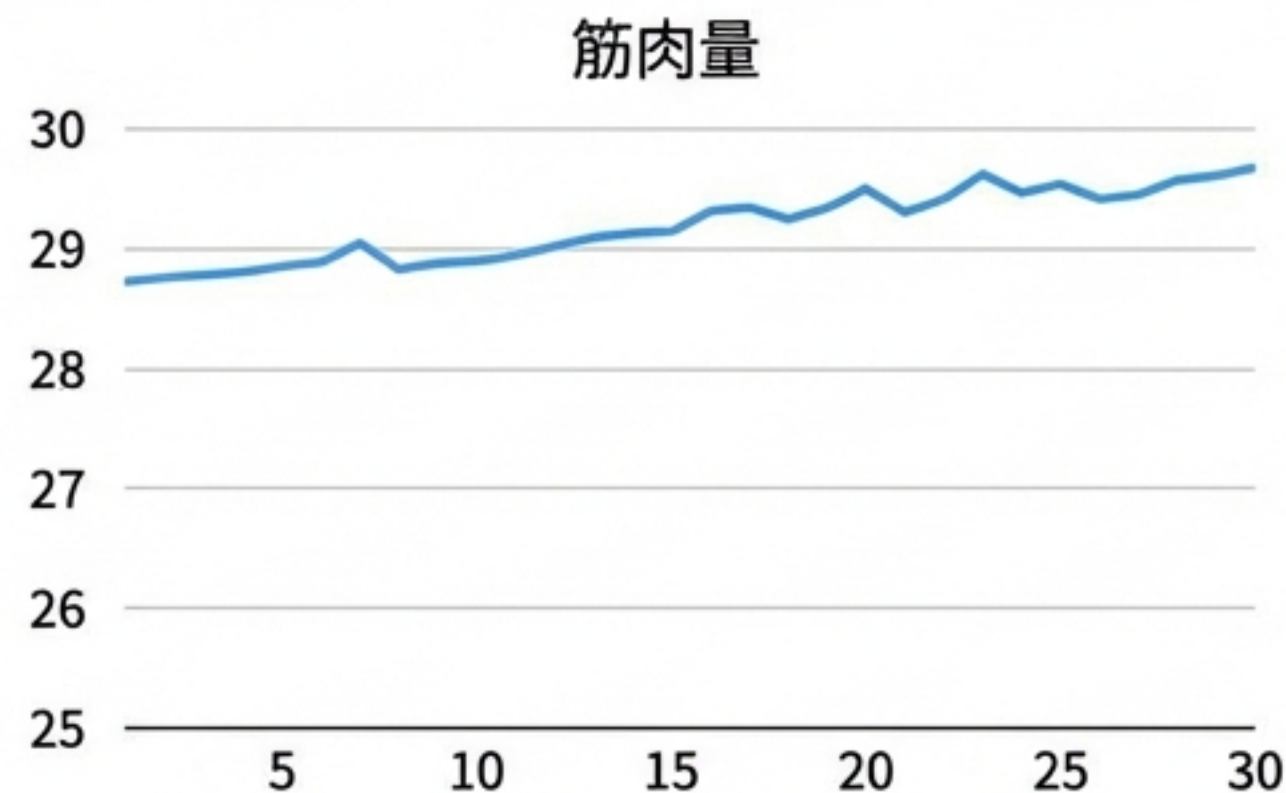
学術的な深み(2) — 数学で日常をハックする

「マップアプリに挑戦」



グラフ理論を用いて最短経路を自力計算し、Googleマップのアルゴリズムを検証。

「筋肉のための数学」

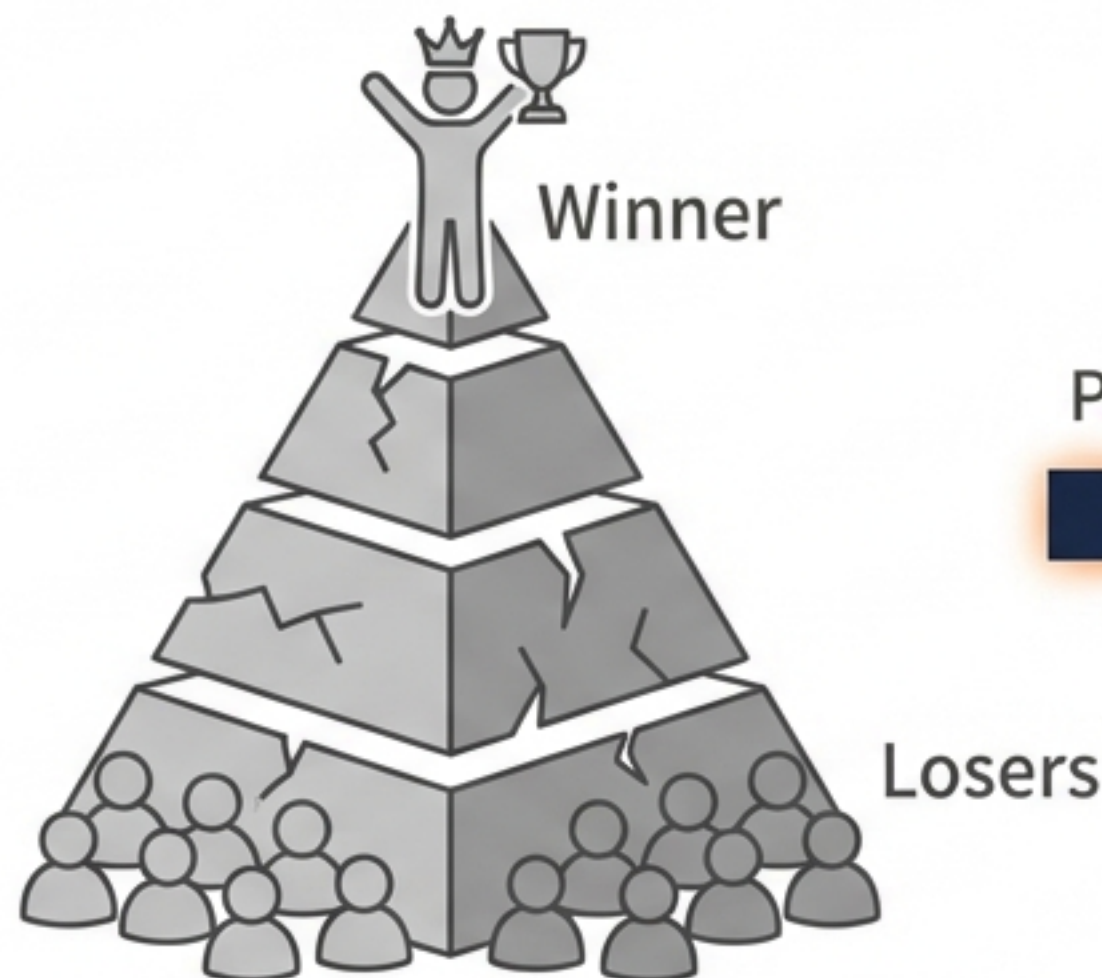


トレーニング条件を変えながら筋肉量の推移を数値化。経験則ではなくデータに基づく身体づくり。

身近な現象を数理モデルで捉え直す力。
論理的思考は、あらゆる分野の強力な武器になる。

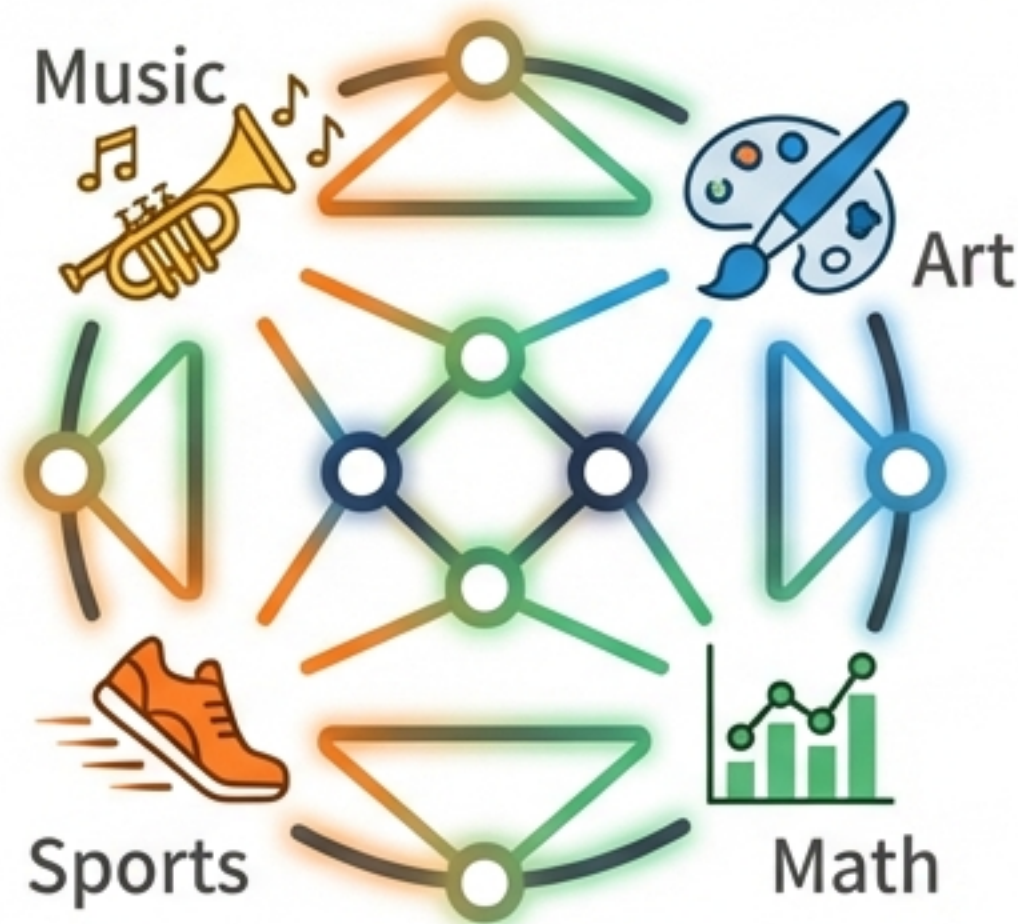
競争（Competition）の再定義 — 奪い合いから「切磋琢磨」へ

旧来の競争



排除、格差、分断。
勝ち負けのゼロサムゲーム。

新しい競争（切磋琢磨）



個性の発揮、共創、多様性。
互いに高め合い、協力する。

他者に勝つことではなく、各自が力をつけ、そのスキルを持った者同士が手を組む未来へ。

獲得した力を、誰かのために使う

令和5年度子ども医療費における診療科目別の支出割合



グランプリ受賞：『歯磨きは未来への投資』

課題：増大する子どもの医療費と虫歯率。

解決策：予防歯科を政策化し、持続可能な医療制度を守る。

社会実装：『補助犬支援』

盲導犬協会への募金・啓発活動。

知るだけでなく、行動する。

知恵とスキルを、弱い立場にある人を支えるために使う。それがSDGsの本質。

新居浜から世界へ：「正解のない問い」に挑む南高生の軌跡

予測不能な (VUCA) 時代を生き抜く力を育む、新居浜南高校「ライフスタディーズ」の挑戦。

予測不能な時代、従来の知識詰め込み型教育の限界を超え、生徒が自ら「問い」を立て、地域や世界と深く関わり、試行錯誤しながら未来を切り拓く力を育む。

「問い」を立て、世界とつながる南高生の探究活動



地域に飛び込む：産業と暮らしの「本物」の現場へ
地元企業の魅力発信、ラジオ番組制作、こども食堂支援など、実社会の課題に直接挑む。



世界を見つめる：地球規模の課題を「自分事」に
国際情勢から「戦争と地理」の関係を探るなど、平和と公正を求める相違を持つ。



学術的に深める：身近な疑問をデータで解明
泡の上昇速度や地図アプリの最適ルートなど、科学的なアプローチで検証を繰り返す。

未来を創るための新しい「競争」のカタチ



「他者に勝つ競争」から「共に創る競争」へ
勝者と敗者を生むのではなく、互いを高め合う「切磋琢磨」を重視する。
共創のサイクル：①切磋琢磨で個の力を磨く → ②力を持ち寄り協働する



発信にたつ補助犬支援やを考えた世界の健争を右力を組み、
多様な探究で得たスキルや知恵を持つ者同士が手を組み、新たな価値を生み出す。



最終目標は「誰一人取り残さない」社会の実現
獲得した力で補助犬支援や医療機問題の提言を行い、SDGsの理念を実践する。



未来への期待

ここでの「挑戦」を自信に変えて。
仲間と手を携え、新しい世界へ飛び立とう。

ご清聴ありがとうございました。